

## 2020年9月理事会議事録

日 時：2020年9月12日（土）14：00～18：10

場 所：Web会議・日本考古学協会事務所

出席：辻 秀人・佐古和枝・佐藤宏之・足立佳代・植田 真・大塚昌彦・岡林孝作・亀田直美・河村好光・小菅将夫・惟村忠志・滝沢 誠・田尻義了・寺崎秀一郎・時枝 務・中嶋郁夫・中山誠二・萩野谷 悟・馬淵和雄・溝口孝司・宮里 修・高麗 正、監事：都築恵美子・橋本裕行、（事務局：林 純子）

欠席：白杵 勲・谷口 榮

進行：宮里 修

議長：辻 秀人

宮里理事から、本日の出席者は24名（うち理事22名）で過半数に達しており、本理事会が成立することが報告され、議事に入った。

### 会員の訃報について

宮里理事から、神奈川県鈴木敏中会員が2020年6月26日、岩手県の及川 洵会員が7月14日、東京都の坂上克弘会員が7月17日、神奈川県吉田 寿会員が8月2日に亡くなられたとの報告があり、哀悼の意を表した。

### 議案第588号 研究倫理部会及びアイヌRTに関わる協会組織と担当理事の位置付けの変更について

佐藤副会長から、①アイヌラウンドテーブル（以下、アイヌRT）担当理事はこれまでの理事会組織表では渉外関係だったが、前理事会において、研究環境検討委員会に研究倫理部会が設置されたことを受け、アイヌRT兼研究倫理部会担当理事も研究環境の内に設ける。②研究環境検討委員会内に設置した研究倫理部会は、矢島國雄前副会長を部会長とし、アイヌRT担当理事2名と前担当理事2名の5名体制として、研究環境検討委員会の活動とは切り分けてアイヌ関係の実務を担当するとの説明があった。審議の結果、組織表の修正及び研究倫理部会の在り方について、承認された。

### 議案第589号 研究発表要旨のA4判化について

田尻理事から、協会の刊行物を順次A4判化していく方針に伴い、総会・大会時の『研究発表要旨』についても第87回（2021年度）総会からA4判としたいとの提案があり、体裁案として2案が提示された。審議の結果、『第87回総会研究発表要旨』からA4判とし、1発表あたり1頁で従来の7割程度の文章量とする体裁が承認された。

### 議案第590号 高校生ポスターセッションの募集要項の改正について

河村理事から、高校生ポスターセッション募集要項について申込み内容に関する文言を整理し、各校に配布しているポスター・チラシ等の表現に合わせて一部修正するとの提案があり、原案通り承認された。なお、その他意見のあった箇所については改めて企画担当

理事で検討していくこととする。

#### 議案第591号 委員会等の構成委員等の承認について

##### 1 アーカイブス小委員会の構成委員と担当理事について

谷口理事が欠席のため高麗常務理事から、アーカイブス小委員会の構成として前理事会で提案されていた矢島前副会長及び長瀬前事務局長に加えて、水山昭宏会員を委員に、谷口 榮理事を担当理事として選任したいとの提案があり、原案通り承認した。

##### 2 協会賞選考委員会の構成委員と担当理事について

佐藤副会長から、日本考古学協会賞選考委員について、理事会からは佐藤副会長と機関誌担当の植田理事が担当するとの提案があり、原案通り承認された。なお、他の4名の委員については次回理事会で諮ることとする。

##### 3 新入会員入会資格審査委員会の構成委員及び審査日程について

中嶋理事から、2021年度新入会員（正会員・賛助会員）の入会資格審査委員候補者案14名並びに入会資格審査日程の提示があり、原案通り承認された。

##### 4 賛助会員の事業に関わる担当理事について

辻会長から、賛助会員を対象とする学習交流会等の事業の担当理事として、佐古副会長・滝沢理事・足立理事の推薦があり、原案通り承認された。

##### 5 国際交流委員会の構成委員について

寺崎理事から、国際交流委員会の構成について提示があり、新たに前理事である小澤正人会員を委員として選任したいとの説明があり、原案通り承認された。

##### 6 英文機関誌編集委員会の構成委員について

溝口理事から、前担当理事の佐々木憲一会員が委員長に就任するとともに、本郷一美会員を委員として選任したいとの説明があり、原案通り承認された。

##### 7 機関誌『日本考古学』編集委員会の構成委員について

植田理事から、機関誌『日本考古学』編集委員会の構成について提示があり、理事改選による担当理事の変更以外の委員は、任期途中であり前年度から継続であるとの説明があり、原案通り承認された。

##### 8 広報委員会の構成委員について

足立理事から、広報委員会の構成として、担当理事3名に加えて前担当理事であった近藤英夫会員・小澤正人会員の2名を委員として選任したいとの説明があり、原案通り承認された。

#### 議案第592号 理事会等におけるオンライン会議等の今後の実施方法

高麗常務理事から、これまでの理事会開催方法について、協会事務所での対面開催やメール審議で実施してきたとの説明があり、続けて辻会長から、コロナ禍による感染防止のため実際に集合しての会議が難しいことから、zoom等を利用したオンライン会議の実施が提案された。審議の結果、協会としてzoomのアカウントを取得し、理事会・総務会や委員会等の各種会議をオンラインで行うことが承認された。

また、滝沢理事から、オンライン会議を実施するにあたり、運用のルール作りを将来構想検討小委員会で作成したいとの説明があり、併せて承認された。なお、事務局でzoomのライセンスを取得するまでに、運用方法についての方向性を提示する予定で進める。

#### **議案第593号 2021年度総会のオンラインを用いて開催することについて**

田尻理事から、学会活動の主要事業である第87回（2021年度）総会及び関連事業について、来年度も新型コロナウイルス感染症の収束が見込めなく対面で実施できない場合を考慮し、オンラインを用いた開催方法の検討を行いたいとの説明があった。については、オンライン化の課題が多々あることから、この検討にあたり、ITに詳しい会員を中心としたワーキンググループを立ち上げたいとの提案があり、総会のオンライン開催の検討、及びワーキンググループの設置が承認された。

#### **議案第594号 日本考古学協会HPリレーコラム「コロナ時代の考古学（仮）」掲載について**

足立理事から、協会ホームページの活性化の一つとして、新たに「コロナ時代の考古学（仮）」のリレーコラムを始めたいとの提案があり、原案通り承認された。

#### **議案第595号 退会会員の承認について**

中嶋理事から、茨城県の\*会員、北海道の\*会員、福島県の\*会員から2020年度をもつての退会届が提出されている旨の報告があり、承認された。

#### **報告第787号 2020年度科学研究費の内定通知について**

高麗常務理事から、本年度の科学研究費補助金の交付決定の通知があったことが報告され、了承された。続けて溝口理事から、新型コロナウイルスの世界的感染拡大に伴い海外出張や海外発表者の来日が制限されていることを受け、今年度の執行計画の見直しが必要になったため、次年度への繰り越しも含めた執行計画の修正案については英文機関誌編集委員会で検討した上で改めて提示するとの補足説明があり、了承された。

#### **報告第788号 書面議決による前総会時の会員意見・回答の会報公開について**

高麗常務理事から、第86回総会の書面議決書に記載された意見に対する前担当理事からの回答が提示され、原案通り了承された。

#### **報告第789号 各委員会等の事業報告**

##### **1 アーカイブス小委員会報告**

谷口理事が欠席のため高麗常務理事から、アーカイブス小委員会の発足にあたり、準備

会を9月1日（火）に開催し、今後の実施計画や作業分担等の検討を行ったとの報告があり、了承された。

## 2 陵墓報告

滝沢理事から、8月2日（日）にオンラインで陵墓関係16学協会の全体会議を行い、今年度の運営委員会の役割分担、及び今年度の陵墓保全整備工事、コロナ禍のために行えていない宮内庁との陵墓懇談実施の可能性について協議したとの報告があり、了承された。

## 3 新入会員入会資格審査委員会報告

中嶋理事から、本年度入会時の正会員入会審査において異議申し立てのあった1件について、経緯とその際に明らかとなった問題点の説明があり、今後の課題として、会員入会資格基準等について改訂等も含め検討していくこととなった。

## 4 埋蔵文化財保護対策委員会報告

馬淵理事から、7月18日（土）と8月15日（土）に幹事会をオンラインで開催し、①2020年度の活動方針については、春の総会時に合わせて行う予定だった全国委員会はメールでの書面開催とすること、2020年度大会中止に伴い情報交換会は中止とすること、研修会・ワークショップについては必要な場合に適宜実施することとした。②埋文委員へのアンケート調査については現在集約作業中である。③京都市特別史跡・特別名勝鹿苑寺（金閣寺）における現状変更のあり方について問題提起があり、情報収集を進める。④長崎市長崎県庁跡地の調査について、現地訪問を行う予定である。⑤岩手県立博物館の学芸員が金属器を無断で切り取っていた問題について、調査の進捗状況について報告があり、引き続き注視していく。⑥福島県会津若松市「攬勝亭」について埋蔵文化財包蔵地登録や史跡指定もなされていないが、中世の居館の可能性が指摘されていることから、現地の確認や行政への働きかけ等、今後も注視していくとの報告があり、了承された。

## 5 機関誌『日本考古学』編集委員会報告

植田理事から、8月10日（月）に委員会をオンラインで開催し、①次号の『日本考古学』第51号の刊行に向けて掲載内容の検討を行い、論文や遺跡報告・書評の他に、第1～50号の目録を掲載する。②『日本考古学』第51号の内容充実のため、原則的には10月刊行予定であるが、11月刊行の可能性も考慮したいとの説明があり、意見交換が行われ、了承された。

## 6 国際交流委員会報告

寺崎理事から、8月1日（土）に2020年度第1回委員会をオンラインで開催し、①英語以外の言語による情報発信も実施できるように、「国際交流委員会規定」第3条第3項の変更が協議された。②協会英文ホームページに掲載する英文コンテンツについて、「発掘された日本列島2020」展より掲載する遺跡を選択、決定した。③今年度の「アジア考古学四学会合同講演会」は新型コロナウイルス感染症の流行により実施しないとの報告があり、了承された。

## 7 災害対応委員会報告

宮里理事から、8月14日（金）に委員会をオンラインで開催し、①令和2年度7月豪雨災害について、九州及び山形県の文化財の被災状況について在住の委員からそれぞれ報告を受けた。②第87回（2021年度）総会におけるセッション開催について協議し、セッションを行う予定で進めることとなった。③協会ホームページのブログ「災害と考古学」について、今後の運用方法を検討したとの報告があり、了承された。

## 8 英文機関誌編集委員会報告

溝口理事から、7月25日（土）に編集委員会をオンラインで開催し、①『Japanese Journal of Archaeology』（以下、JJA）Vol. 8, No. 1、及びVol. 8, No. 2の掲載予定内容を協議した。②今年度の科学研究費補助金で実施予定であった、第86回総会におけるセッション及びワークショップがコロナ禍により実施できなかったため、委員会独自での今年度中の開催を検討したが、新型コロナウイルス感染症の収束状況等に鑑み、引き続き状況を注視することとなった。③2020年度予算について、海外出張及び発表者の来日中止により旅費の支出予定が大幅に減額となることから執行計画の見直しが必要となり、対応について協議した。④既発表の日本語論文の翻訳掲載の可能性について検討したとの報告があり、了承された。

## 9 広報委員会報告

足立理事から、8月6日（木）及び9月3日（木）に委員会をオンラインで開催し、①今年度からの『会報』A4判化に伴い版組及び表紙デザインの変更について検討し、新体裁とすることとした。②協会ホームページの活性化のために、コンテンツの整理や内容の充実について協議したとの報告があり、改めて各理事に「コロナ禍の考古学（仮）」への協力が要請され、了承された。

## 10 社会科・歴史教科書等検討委員会報告

惟村理事から、9月6日（日）に委員会をオンラインで開催し、今年度の委員会活動について、①2020年度採択の教科書や指導書の検討のため、教科書や指導書の購入について検討した。②協会ホームページの掲載内容について協議したとの報告があり、了承された。なお、今年度の第86回総会で会場実施できなかったセッションの来年度の第87回総会セッションでの再実施については、企画担当理事から、第86回総会セッションについては誌上で既発表扱いとなっており、同内容のセッション開催には留意が求められた。

## 11 研究環境検討委員会報告

亀田理事から、8月23日（日）に委員会をオンラインで開催し、①委員会体制の変更にあたり、これまでの検討経過や課題の引継ぎを行った。②新たに研究倫理部会が設置されることを受け、担当業務や部会の位置付け等を整理した。③2020年度の活動として、これまでの活動を継続して、後継者育成に関する問題への取組みと提言のとりまとめ、キャリア形成に関するセッションの実現に向けた準備を行う方針を確認したとの報告があり、了承された。

## 報告第790号 2020年度の定例総務会・理事会開催方法と日程

高麗常務理事から、議案第592号の承認を受けて、新型コロナウイルス感染拡大防止により、総務会はオンライン会議、理事会も当面は原則としてオンライン会議とすること、併せて日程の提示がありました承された。

### その他

#### 1 著作権・資料使用申請の承認

高麗事務局長から、資料の使用申請のあった「アナザーストーリーズ—偽りの“神の手” 旧石器ねつ造事件はなぜ起こったか—」が9月15日（火）にNHKプレミアムで放送されるとの説明があった。

以 上

